

第5回 旭市学校のあり方検討委員会次第

日時 平成29年10月12日(木)

午後6時30分～

場所 海上公民館1階第1研修室

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 検討事項

(1) 第4回会議における意見内容の確認について

(2) 小中学校の適正配置について

4. その他

5. 閉 会

(1) 第4回会議における意見内容の確認について

小中学校全般について

- ・学校が老朽化で非常に危険という問題が無ければ、しばらくはこの状態を維持してもらいたい。
- ・全校生徒が何人になったら統廃合したほうが良いといった基準はあるか。
- ・現在の状況では、デメリットを感じながらもメリットのほうが多いと感じている。
- ・なぜ再編が必要なのかという、絶えずその根本に戻ることが大事であると思う。子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するためには、再編が必要であるというコンセンサス（合意）が重要で、単純に人数合わせで再編するのは、いかがなものかと思う。
- ・再編が必要ということであれば、AがBに吸収されるという印象を与えないよう、例えば3校で適正規模をつくることのできるのであれば、学区を引き直し、3校とも新しく新設するという発想のほうが、皆痛み分けて、より納得いただき易いのではないかと感じる。
- ・学校再編を考えていくには、20年、30年先の人口推計等の資料を基に話し合っていく必要がある。こういった資料があれば、効果的で、説得力のある資料となり、より現実的で先を見通した検討ができるのではないと思う。
- ・統廃合が必要となる場合は、子どもたちのことを第一に、新しくできる学校をより魅力的な学校にすることに重点を置いて考えてほしい。
- ・統廃合という結論になったとしても、当事者である保護者・地域の方々との話し合いの場を持ち、長い目で計画を立て、時間をかけて進めていく必要がある。
- ・統廃合に関しては、地域と保護者が納得するものであれば良いと思う。
- ・市街地と過疎地では人口に開きがあるという問題がある。
- ・学校が少なければ、市の予算も少なくて済むということか。

小 学 校 に つ い て

- ・ 望ましい子どもたちの健全育成という点で考えると単学級は望ましくないが、単学級であっても教員の力量によってすばらしい学級ができるし、旭市の場合は、距離的にもバランスが取れているため現状を大事にしていきたい。
- ・ 小学校については、徒歩で通えることが基本であると思うので、小学1年生が徒歩で通える通学距離を十分考慮してほしい。
- ・ 旭市では中学校を中心に通学しやすいよう上手に持っていき、小学校を中学校の近くに持っていくようにしてはどうかと思う。
- ・ 旭市は地域がよくまとまっており、離れた学校を無理に組み合わせなくても、ちょうどよい感じがしている。
- ・ 100人に満たない学校をどうしていったらいいかが課題。
- ・ 小学校は徒歩で通学できることが理想であるが、やむなく再編となった場合は、スクールバス等の通学手段に配慮する必要がある。見方を変えれば、みんなで一緒にバスで行き帰りできる機会にもなり、保護者に送迎の負担をかけないことにもなる。
- ・ いずれということであれば、小学校で言えば、複式学級が出た場合には、仕方ないものとして、地域の方々にも納得いただけるのではないか。
- ・ 小規模校について、複式学級にならないように増置職員を置くことで単学級とすることができた例もある。

中 学 校 に つ い て

- ・部活動で夕方遅く、朝も早い場合があるため、中学校の配置については、通学距離がなるべく遠くならない配置にしてほしい。
- ・第一中学校と第二中学校があまりにも距離的に近い位置にある。
- ・中学校については、校舎が新しい学校が多いため、その校舎を活かして無駄にならないような形にしてほしい。
- ・学区については、長い年月を経てこの形となっていると思うので、ただ人数合わせしただけでは、皆さんが納得いかないと思う。ただ人数も少なければ部活動の数も少なくなり、皆、大規模校の方に行きたがる傾向となるため、学校の配置を最初に戻してやり直したい気持ちになる。
- ・本来は第一中学校区であっても第二中学校のほうが人数が多く、自分の希望する部活動もあることから、住所を変えて第二中学校に行くという話もよく聞く。まず統廃合ということを考えるよりも、人数のバランスを取っていくことを最初に考えてもいいのではないかと思う。
- ・校舎を建てかえたばかりの学校を除くと第一中学校と第二中学校をまとめるぐらいしかないのでは。あとは生徒数の少ない干潟中学校をどうしていくのかということも難しい課題である。
- ・まず、中学校を思い切った形で再編してみるという案を出していく必要があるのではないかと思う。
- ・銚子市の例で言うと、7校中4校が単学級となったことをきっかけとして再編に踏み切っている。旭市内の中学校5校中3校が単学級化する見込みとなれば、統合に向けて進めていけば良いと思う。
- ・いずれということであれば、中学校で言えば、単学級がいくつか出る規模になった場合には、仕方がないものとして、地域の方々にも納得いただけるのではないか。

(2) 小中学校の適正配置について

自治体名	旭 市
委 員 会 等 名 称	旭市学校のあり方検討委員会
	事務局（案）
適 正 規 模	【小学校】 12 学級から 18 学級 【中学校】 12 学級から 18 学級
適 正 配 置	・学校の小規模化が進む中で、将来を担う子どもたちに、より良い教育環境を提供していくことを第一に考える。 ・通学の負担、安全安心への配慮。 ・遠距離通学となった場合のスクールバス等の考慮。 ・地理的条件、歴史的な背景の考慮。 ・学校と地域との関わりへの考慮。
○ 小 学 校	・複式学級が見込まれる場合は、その解消のため学校再編を検討する。
○ 中 学 校	・単学級が見込まれる場合は、その解消のため学校再編を検討する。

現年齢	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		小1		小2		小3		小4		小5		小6				
	入学年度	35年度	34年度	33年度	32年度	31年度	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級		
入学数		児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級		
中央小		122	4	131	4	120	3	107	3	124	4	109	3	120	3	113	3	116	3	134	4	112	3	131	4		
琴田小		21	1	24	1	21	1	21	1	25	1	25	1	28	1	30	1	27	1	28	1	26	1	25	1		
干潟小		41	2	32	1	33	1	36	1	47	2	38	1	44	2	47	2	35	1	41	2	48	2	56	2		
富浦小		29	1	37	1	23	1	31	1	32	1	32	1	31	1	29	1	27	1	35	1	23	1	34	1		
矢指小		23	1	20	1	28	1	16	1	26	1	24	1	20	1	24	1	28	1	21	1	39	1	28	1		
共和小		30	1	44	2	40	1	56	2	39	1	44	2	50	2	48	2	33	1	41	2	42	2	47	2		
豊畑小		34	1	19	1	31	1	31	1	26	1	29	1	36	1	30	1	32	1	38	1	37	1	32	1		
鶴巻小		20	1	20	1	25	1	12	1	17	1	17	1	17	1	15	1	23	1	26	1	13	1	20	1		
滝郷小		15	1	11	1	16	1	13	1	13	1	12	1	18	1	25	1	11	1	19	1	16	1	15	1		
嚙鳴小		48	2	44	2	67	2	59	2	58	2	55	2	54	2	60	2	63	2	64	2	56	2	59	2		
三川小		24	1	23	1	38	1	25	1	37	1	30	1	29	1	41	2	27	1	37	1	38	1	37	1		
飯岡小		18	1	26	1	20	1	27	1	27	1	32	1	42	2	22	1	39	1	36	1	40	1	38	1		
中和小		11	1	13	1	11	1	6	1	19	1	16	1	21	1	23	1	16	1	18	1	14	1	14	1		
萬歳小		15	1	11	1	16	1	12	1	19	1	12	1	17	1	13	1	13	1	9	1	13	1	13	1		
古城小		16	1	16	1	22	1	23	1	23	1	22	1	13	1	27	1	23	1	19	1	21	1	18	1		
合計		467	20	471	20	511	18	475	19	532	20	497	19	540	21	547	21	513	18	566	21	538	20	567	21		
在籍数	35年度	児童数	学級	34年度	児童数	学級	33年度	児童数	学級	32年度	児童数	学級	31年度	児童数	学級	30年度	児童数	29年度	児童数	学級					24年度	児童数	学級
	中央小	713	21	711	20	693	19	689	19	716	20	704	19	726	20												
	琴田小	137	6	144	6	150	6	156	6	163	6	164	6	164	6												
	干潟小	227	8	230	8	245	9	247	9	252	10	253	10	271	11												
	富浦小	184	6	186	6	178	6	182	6	186	6	177	6	179	6												
	矢指小	137	6	134	6	138	6	138	6	143	6	156	6	160	6												
	共和小	253	9	273	10	277	10	270	10	255	10	258	11	261	11												
	豊畑小	170	6	172	6	183	6	184	6	191	6	202	6	205	6												
	鶴巻小	111	6	108	6	103	6	101	6	115	6	111	6	114	6												
	滝郷小	80	6	83	6	97	6	92	6	98	6	101	6	104	6												
	嚙鳴小	331	12	337	12	353	12	349	12	354	12	352	12	356	12												
	三川小	177	6	182	6	200	7	189	7	201	7	202	7	209	7												
	飯岡小	150	6	174	7	170	7	189	7	198	7	211	7	217	7												
	中和小	76	6	86	6	96	6	101	6	113	6	108	6	106	6												
萬歳小	85	6	87	6	89	6	86	6	83	6	77	6	78	6													
古城小	122	6	119	6	130	6	131	6	127	6	125	6	121	6													
合計	2953	116	3026	117	3102	118	3104	118	3195	120	3201	120	3271	122													

※平成29年5月1日現在
※学級数は1学級を40人を標準として編制。学級編制の弾力的な運用は基準が年々変化するため、現年度も将来年度も考慮していない。
※各学年の児童数は特別支援学級の児童数を含むため、実際の学級数とは異なる場合がある。

※平成29年5月1日現在
 ※学級数は1学級を40人を標準として編制。学級編制の弾力的な運用は基準が年々変化するため、現年度も将来年度も考慮していない。
 ※各学年の児童数は特別支援学級の児童数を含むため、実際の学級数とは異なる場合がある。

平成29年 児童・生徒数の予測（旭市一中学校）

住民基本台帳を基にした推計

現年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	中1	中2	中3
入学年度	35年度	34年度	33年度	32年度	31年度	30年度	29年度	28年度	27年度
入学数	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
第一中	68	2	69	2	81	3	63	2	76
第二中	273	7	239	6	254	7	278	7	253
海上中	87	3	91	3	77	2	99	3	106
飯岡中	70	2	68	2	82	3	67	2	91
千歳中	47	2	51	2	50	2	44	2	54
合計	545	16	518	15	544	17	551	16	580
在籍数	35年度	34年度	33年度	32年度	31年度	30年度	29年度	28年度	27年度
生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級
第一中	209	6	222	7	226	8	196	6	
第二中	777	20	756	20	813	22	799	21	
海上中	272	9	273	8	264	8	331	10	
飯岡中	202	6	231	8	226	7	228	7	
千歳中	158	6	151	6	139	6	149	6	
合計	1618	47	1644	48	1668	51	1703	50	

※平成29年5月1日現在

※学級数は1学級を40人を標準として編制。学級編制の弾力的な運用は基準が年々変化するため、現年度も将来年度も考慮していない。

※各学年の生徒数は特別支援学級の生徒数を含むため、実際の学級数とは異なる場合がある。



